

留 学 報 告 書

記入日:2018年1月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University, Long beach
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年12月22日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月下旬 2学期:1月下旬～5月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3万5,000人
創立年	1949年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	\$0	0円	
宿舍費	\$5,560	70万円	宿舍費(寮)とミールプランがセットになっている。 秋休みも滞在する場合は追加料金が必要。
食費	\$50	5,000円	外食
図書費	\$200	2万円	
学用品費	\$150	1万5,000円	
教養娯楽費	\$400	4万円	
被服費	\$50	5,000円	
医療費	\$0	0円	
保険費	\$1,000	10万円	形態:明治と留学先の保険に加入。
渡航旅費	\$1,650	16万5,000円	
雑費	\$1,000	10万円	ビザ申請費・携帯料金・ホテル宿泊費などを含む。
その他		円	
合計	\$10,060	115万円	カリフォルニアは物価が高いと思う。

渡航関連

渡航経路:羽田空港からロサンゼルス国際空港まで。

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	約 8 万
復路	約 8 万
合計	約 16 万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

飛行機やホテルの予約は明大マートを利用した。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮。

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2 人部屋)

3)住居を探した方法:

留学先大学のサイト。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が滞在した International House は寮のなかでも人気で広々としている。ルームメイトが良い人だったので、トラブルは一切無かった。ただし、部屋にキッチンが無く、バスルームは6人で共有するため不便なときもあった。電子レンジや冷蔵庫はルームメイトが持ってきてくれたので、一緒に使わせてもらった。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に相談する程の問題はなかった。相談窓口はあったと思う。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

出掛けるときはひとりで行動しない。犯罪に巻き込まれたことは無かった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の敷地で Wi-Fi を使うことが出来る。接続が不安定になることも多かった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の ATM で現金を下ろせるデビットカードを準備したが、一度も使わなかった。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

普段使用している頭痛薬や下痢止めなど。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
現時点では特になし。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
現時点では英語を活かせる業界・職種を希望している。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就活を始めたばかりで何とも言えないが、留学前にインターンシップに参加したこと、興味のある業界の説明会に行ったこと、苦手な非言語分野の筆記試験対策を進めたことで、留学中は焦ることなく勉強に集中できた。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Film History	映画史
科目設置学部・研究科	Film and Electronic Arts
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に3時間45分が14回
担当教授	Rowena Santos Aquino
授業内容	授業前半は映画史の講義。後半は映画鑑賞で、それに関する自分の意見を書いて後で提出する。主にアメリカ映画を中心に勉強するが、ラテンアメリカ・ヨーロッパ・アフリカ・アジア・中東などの映画も広く浅く学ぶ。
試験・課題など	試験は計3回。個人で映画を観てレポートを提出するのが計2回。課題は教科書を読んでくること(量はとても多い)。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Foundation Drawing	デザインの基礎
科目設置学部・研究科	学部は関係ないが履修者の多くはアート専攻だった。
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義もあるが実技が中心(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に5時間 30分が 15回
担当教授	Kaleeka Bond Quaye
授業内容	基本的には鉛筆やパステルなどで、物・像・顔などを描いた。必要な美術キットは130ドルで購入した。まずは講義を聴いて、教授のデモンストレーションを見る。その後、個人で作業を進める。たまに全員の絵を壁に飾って、皆で批評することもあった。
試験・課題など	基本的には、授業中に描く絵と課題として家で描く絵を並行して進める。しかし、絶対に授業中だけでは終わらないので、両方を計画的に完成させる必要があった。それとは別に、スケッチブック 50枚をうめる課題もあった。授業中に描いた絵は計8枚、家で描いた絵は計4枚だった。試験はなく、成績は絵と授業態度で決まる。
感想を自由記入	絵を描いている途中で、教授がアドバイスをくれたり学生同士で批評したりするので、得るものが沢山あった。英語で指示を聞き取ったり批評したりするのは意外と難しかった(特にはじめの頃は美術の専門用語が分からなかった)。しかし、この数か月で絵が上達したと実感している。基本的に、1枚の絵を完成させるのに少なくとも12時間はかかったが、それでも美術が好きな人は本当に楽しい授業だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to the Visual Arts	美術の基礎
科目設置学部・研究科	学部は関係ない。
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に2時間 30分が 15回
担当教授	Ariana Rizo ・ Amy Kaeser
授業内容	授業内容は主に3つに分かれている。まず、美術作品の簡単な表現・分析方法を学び、学んだことを活かして、実際にキャンパス内にある美術作品を自分で表現・分析する。次に古代から現代の美術について広く浅く学ぶ。最後に美術史を基に美術作品を作り、グループ内で発表して、学生同士で簡単な批評をする。
試験・課題など	試験は計3回で、ミニクイズが1回ある。さらに、キャンパス内の美術館とキャンパス外の美術館を訪れてレポートを書くのが2回、プリント提出が数回ある。自分で美術作品を作る機会もある。予習として教科書や資料を読んでくる。
感想を自由記入	担当教員は大学の教授ではなく大学院生であったが、オフィスアワーで質問すると丁寧に説明してくれる。講義内容は美術の基本なので、アート専攻でなくても問題なく授業についていける。有名な絵は知っていても、描かれた背景を知らないことが多いのではないだろうか。教養として美術を学びたい人におすすめしたい。最初に美術の英語表現を学ぶことが出来たので、Foundation Drawingでも役に立った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Early United States History	アメリカ史
科目設置学部・研究科	学部は関係ない。
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に2時間30分が15回
担当教授	Wanda Mullikin
授業内容	大航海時代から南北戦争までのアメリカ史を学ぶ。教科書を読む、課題を提出する、テストを受けるなど、ほとんどの作業はオンライン上で行った。そのための専用のサイトがあり、履修者はそこに登録する(登録にはクレジットカードでの支払いが必要)。
試験・課題など	2週間ごとにオンライン上のテストを家で受験する。全部で計6回。すべて教科書の中に答えが書いてあるので、しっかり読み込んで理解すれば高得点が取れる。また、毎週オンライン上で課題を提出する。これは過去の資料を読んで質問に答えるというもの。レポートの提出は計2回。特に1つ目のレポートを書くには指定の本(150ページ程)を読まなければならないので時間がかかる。たまに授業内でプリント提出がある。現地の学生はスラスラ解いていたが、留学生は時間がかかると思う。
感想を自由記入	細かい部分まで歴史を勉強するのでアメリカ史に対する理解が深まった。留学中は辛い授業だったが、今振り返ると履修して良かったと思う。ただ、現地の学生より知識が足りなかったので苦労することも多かった。また、アメリカの憲法や独立宣言書、昔の資料などを読み解いていく課題が多く、そこに書かれた英語は現代と少し異なるため、とても読みづらかった。

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学説明会に足を運ぶ
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	留学先の決定・学内選考(書類審査・面接)
2017年 1月～3月	パスポートの更新・留学先へオンライン出願・留学許可
4月～7月	寮の確保・ビザ取得・飛行機とホテルの予約・予防接種
8月～9月	留学
10月～12月	期末試験・帰国
2018年 1月～3月	就活開始
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	中学生の頃から英語が大好きだったので、その頃から留学に憧れていました。また、海外の映画も好きだったので、映画の本場であるロサンゼルス近くの大学で映画を勉強することが夢でした。以前から絵にも興味があったので、明治大学では学ぶことができない美術も勉強したいと思っていました。せっかくの機会なので、普段なかなか勉強できない教科を履修することも、良い経験になると思います。もちろん、英語力を伸ばし、アメリカの文化や歴史について理解を深めることも目的のひとつです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学のためにした準備:英検や TOEIC をひとつの目安にして、とにかく英語力を向上させました。留学前に英検1級や TOEIC900 点を達成できたのは、少し自信に繋がりました。しかし、語学の勉強はこれで十分ということは無いので、学習を継続させることが大切です。また、帰国してすぐ就活が始まるので、2年生のうちに夏のインターンシップと授業内インターンシップに参加しました。 しておけば良かったと思う準備:リスニングに苦労したので、もっと練習すべきでした。
この留学先を選んだ理由	「留学しようと決めた理由」と少し被りますが、1 番の目的は映画の本場に行って映画について勉強することでした。たまたま私が留学する年に、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校が協定校に加わりました。その大学は、交換型でカリフォルニア州に行ける唯一の大学でした(2017 年度)。さらに、ロサンゼルスから車で 30 分程度だったので、ここしかないと思いました。実は映画関係の授業をもっと履修するつもりでしたが、残念ながら映画専攻ではないので、履修できるのは映画史だけだとストップがかかりました。しかし、映画史だけでも勉強内容は充実していたので、今ではとても満足しています。ルームメイトとハリウッドに行ったことも、かけがえのない思い出になりました。
大学・学生の雰囲気	大学の雰囲気:都心部にある大学ですが、緑が多く、リスを見かけることも沢山ありました。キャンパスは広く、昼間は学生で賑わっています。 学生の雰囲気:学生はフレンドリーな方が多かったと思います。最初は、既に出来上がった輪の中に入ることに抵抗を感じていましたが、現地の方はすんなりと受け入れてくれました。留学生だからといって他の学生がいつも話し掛けてくれる訳ではありませんが、なかには私が留学生だと分かって、授業中に「大丈夫？」と声を掛けてくれる人もいました。
寮の雰囲気	授業が始まる前の1週間は寮で様々なイベントが開かれるので、他の学生と知り合う良い機会だと思います。寮全体のイベントとしてバーベキューや遠足などが催され、International House では学生の交流を図るゲームなどが行われました。現地の学生によると、他の寮に比べて International House は交流が盛んだそうです。International House には広い談話室があり、そこで学生がテレビを見たり、交流を深めたりしています。特に大きなトラブルは無く、基本的には快適に過ごせました。
交友関係	私はもともと人見知りで、少数の人と親しくするタイプでしたが、それでも友達には自然に出来ました。特にルームメイトとは親しくなり、彼女には大変お世話になりました。最初は積極的に動いて大勢の人と仲良くなろうとしましたが、慣れないことをすると気疲れするものです。自然体でいることが一番だと実感しました。留学生活を送るうちに、自然と知り合いが出来て、誰かと一緒にご飯を食べたり出掛けたりする機会が増えると思います。
困ったこと、大変だったこと	オンライン出願を2月の中旬に行いましたが、留学先から指示をもらってから締め切りまで1週間しかなく、その期間に必要な書類を集めるのが大変でした。その前から履修したい授業を決める、寮を調べるなど、出来る限りのことをしておくと思いいます。また、寮の宿舍費を支払うときも苦労しました。私は1学期間の滞在でしたが、1学年間の費用しか提示されなかったので、自分で計算して支払わなければなりません。確実に正しい金額を支払えるよう、1学期間の留学であれば寮に直接確認することをおすすめします。また、留学中は車が無いと移動が不便でした。スーパーや郵便局は歩ける範囲にありましたが、遠くに出掛けるときは知り合いの車に乗せてもらいました。

学習内容・勉強について	上記で詳しく説明しましたが、私は映画史・美術・アメリカ史を勉強しました。やる気さえあれば、留学生でも良い成績を取ることが出来ます。そのために、常に目標を定めて勉強することが大切です。私は、予習を怠らないこと、計画的に学習を進めること、積極的にオフィスアワーを利用することを心掛けました。また、キャンパス内は学習環境が整っていました。困っているときは教授からアドバイスを頂いたり、予約をすればレポートを添削してくれる団体を利用したりしました。
課題・試験について	言葉の壁は大きいもので、課題や試験は大変でした。睡眠不足になることもありましたが、授業で分からない部分があればオフィスアワーで解決し、どの教科でも試験では9割以上の点数をキープしました。その結果、すべての教科で目標としていたAを取ることが出来ました(ロングビーチ校ではAが一番良い評価)。交換留学生のなかには、ただ単位を取ればそれで良いと考えている人もいましたが、明治の代表として来ていることを忘れず、学業には全力で取り組むべきだと思います。
大学外の活動について	特に目立った大学外の活動はありません。なぜなら4か月程度の滞在だったので、他の活動まで手を出すと全て中途半端になると思ったからです。その代わりに、授業に専念すると決めて留学生活を送りました。もちろん遊ぶときは遊びます。時間があるときは、他の学生と外食したり、映画を観に行ったりしました。特に秋休みの1週間はルームメイトの家に泊めてもらい、家族の方と一緒にロサンゼルスを観光しました。
留学を志す人へ	留学だけでなく全てのことに当てはまりますが、常に明確な目的や目標をもつことが必要です。留学中は慣れてくると気が緩むことがありますが、留学前の気持ちを忘れずに、1日を大切に過ごして下さい。しかし、それ以上に健康管理が重要です。私は留学中は健康そのものでしたが、帰国してすぐに体調を崩しました。慣れない環境の中では、知らないうちに疲労が溜まっていきます。基本的なことですが、まずはしっかり寝ること、栄養を摂ること、無理をしないことが大切です。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備
	ランチ 課題	授業	ランチ 課題	授業	ランチ 課題	ランチ デッサン	ランチ 課題
午後	課題	ランチ	授業	ランチ	課題	デッサン	課題
	授業	授業	授業	授業	課題	デッサン	課題
夕刻	夕食・自由	夕食・自由	夕食・自由	夕食・洗濯	夕食・自由	夕食・自由	夕食・自由
夜	課題・就寝	課題・就寝	課題・就寝	課題・就寝	課題・就寝	デッサン 就寝	課題・就寝

